



校長のひとり言

■「前さえ向いていれば後戻りはしない」

4月に入ると校舎周辺の桜も満開となり、宍道湖から吹く風も暖かさが増して春を感じさせてくれます。また、高台にある校舎の3階に上がると宍道湖、簸川平野、北山山系が一望でき、冬から春の景色へと移りゆくことが確認できます。

この度の人事異動で17名の教職員の皆さんをお迎えし、宍道高校7回目の春の出発となりました。毎年のことではありますが、新しい教職員と新入生を迎え、1年間明るく元気で活気ある教育活動が送れることを願います。

通信制課程の在校生は、すでに受講登録が完了しています。5月号に掲載される前期スクーリングの時間割で確認できると思いますが、4月24日(日)の日S1から学習活動の開始となり、皆さんにとって新たな出発日です。この1年間、通信制課程のモットーである「あせらず、やすまず、あきらめず」を合言葉に取組み、学習成果(単位修得率合)が上がることを期待しています。

日々の些細な行動の再出発は安易にできますが、通信制課程の1年間通じた学習活動の再出発は1年後でなければ迎えることができません。決意と自覚ある行動で乗り越えるためにもいい出発としてほしいです。大切なことは、出発はある目的に向かって歩み始めることなので、出発前には目的や目標を明確にしておくことが重要と考えます。

皆さんも気づいたと思いますが、出発の際は前を向いている状態です。これまで学校生活や仕事等で悩み、一歩が踏み出せず苦しい思いをした人も多いと思いますが、次のように考えます。一歩を踏み出す勇気がなくても、前さえ向いていれば後戻りはしない。いつまでも振り向き背を向けていると前には進めないということです。踏み出す時には偶然的な出来事等も後押しとなるので、いつも前を向いていることが重要と考えます。

今春が皆さんにとっていい出発となることを期待するとともに、勉強と仕事等が両立し楽しく充実した1年間になることを願っています。

編 | 集 | 後 | 記

今年も、桜がきれいに咲きました。誰もがきれいだなと思える桃色の花を咲かせる一方で、散っていくはかなさがあるところが、桜が愛される理由でしょうか。

ところで、川辺には多くの桜が植えられていると思いませんか？なぜでしょう？それは、桜を植えて見にくる人を増やし、そこを歩かせて堤防の地盤を固めさせようとしたからなのだそうです。しかし、桜の木は、実はデリケート。地面の浅いところに生える根っこから栄養を吸収するので、土が固まると養分を吸えなくなり、枯れてしまう危険性があるのだそうです。桜のことを考えながら、私たちが花見を楽しみたいものです。桜の花言葉は「精神美」。心の美しい人を目指したいものです。